

仕様書

1.業務名称

地方独立行政法人市立大津市民病院救急救命士導入支援アドバイザリー業務委託

2.委託期間

令和8年4月1日から令和8年9月30日まで（原則6か月間）

3.業務目的

本業務は、市立大津市民病院において院内救命救急士を導入するにあたり、制度設計から現場配備、教育・育成、運用定着までを一体的に支援することを目的とする。

これにより、医師・看護師等の医療従事者の負担軽減、救急外来の円滑な運営、タスクシフト・タスクシェアの推進を図り、急性期医療の質と安全性、生産性の向上を目指す。

4.業務内容

①院内救急救命士導入に係る制度設計および体制整備支援

- ア 救急救命士導入にあたっての救急外来業務の現状調査・分析
- イ 救急救命士の業務範囲および役割の整理
- ウ 救急救命士法にて規定する救急救命士に関する委員会の設立支援
- エ 運用フロー、役割分担表、規程案等の作成
- オ 医師・看護局・その他関係部署との調整支援

②教育・育成および現場支援

- ア 初期研修（講義・実技・院外研修）の企画および実施
- イ 救急救命士の教育計画、ラダーの作成
- ウ 救急外来におけるOJT指導
- エ 到達度評価およびフィードバックの実施

③運用・業務改善支援

- ア 運用状況の評価および課題整理
- イ 業務改善および定着化に向けた助言
- ウ 他院における院内救急救命士の導入・運用事例の情報提供

④その他

- ア 上記各号に付随し、院内救急救命士の円滑な導入・運用に必要な支援

5.業務手順

- (1)受託者は、業務開始にあたり業務実施計画書を作成し、委託者の承諾を得ること。
- (2)業務遂行にあたっては、委託者担当職員と十分に協議・連携しながら進めること。
- (3)業務の進捗状況について、適宜委託者へ報告を行うこと。

6.受託者要件

- (1)労働者派遣事業の許可を有していること。
- (2)過去3年以内に、二次救急医療機関における救急救命士の派遣または導入支援実績を1件以上有すること。
- (3)過去3年以内に、院内救急救命士導入支援アドバイザリー業務の契約実績を1件以上有すること。

7.導入支援者要件

- (1)救急救命士資格を有し、救急外来または救命救急センターでの実務経験が5年以上ある者。
- (2)院内救急救命士制度の設計、導入または教育・育成に関する実務経験を有する者。
- (3)医師・看護師・コメディカル等の多職種連携の調整・指導経験を有する者。
- (4)医療安全、個人情報保護、感染対策等の院内規程を遵守できる者。

8.成果物

次の(1)～(6)に掲げる成果物を書類及びデータにて提出すること。

- (1)救急救命士業務範囲整理資料
- (2)運用フロー図、規程案等の制度関連資料
- (3)研修プログラムおよびOJT評価資料
- (4)救急救命士の教育計画、ラダー資料
- (5)業務実施報告書（最終報告書）
- (6)その他本業務委託にあたり作成した資料

9.その他

- (1)本業務の詳細な内容および進行方法は、委託者の状況や方針を踏まえ、協議のうえ適宜調整するものとする。
- (2)救急救命士の配置および業務範囲は、院内での協議結果に基づき決定され、受託者はその内容に応じて柔軟に支援内容を調整する。
- (3)成果物に関する著作権は、委託者に帰属し、受託者は委託者の承諾なく使用することはできないものとする。
- (4)本仕様書は見積書と併せて使用し、協議のうえ最終的な契約内容を確定するものとする。